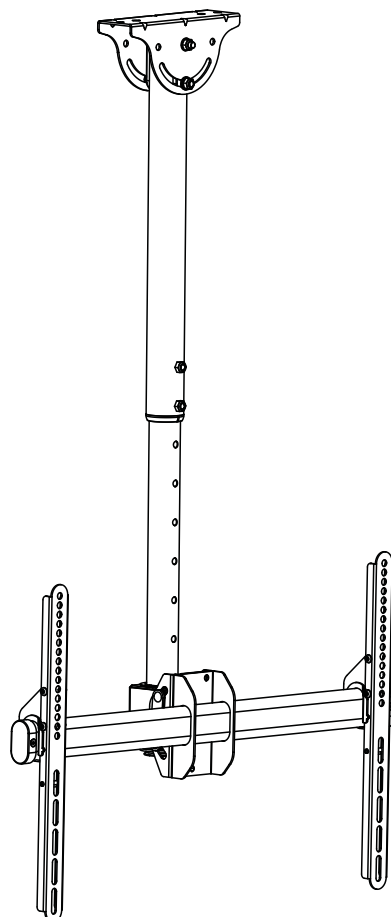


テレビ天吊り金具 使用・取付け説明書

型番
『CP-101,CP-102』



※CP-101,CP-102 共通の説明になっています

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の天井構造・強度については弊社では責任が持てない事をご了承ください。



設置施工・工事については弊社では一切保証がございません。取付け不備による万が一の事故や損害に関しても一切の保証がございませんので、取付けの際は十分に注意し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。



本商品は、天井裏の梁や補強箇所に取り付けを行う金具となります。天井裏や取付けの知識が無い場合テレビの天吊り設置は大変難しい作業となりますので、専門業者への依頼を強くお勧めします。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、テレビの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。



取付ける天井の材質や場所によって、耐荷重が異なります。テレビと金具などの総荷重、地震や想定される外力に長時間十分に耐える場所に取り付けてください。少しでも取付けが困難と思われた場合は中止してください。取付け場所によっては別途補強が必要な場合がありますので、専門業者と相談し、よく確認した上で設置工事を依頼してください。



一度設置した天井側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下しており大変危険です。



商品ごとに定められている許容重量以下のテレビのみをご使用ください。



取付け箇所は必ず天井裏にある梁などのしっかりとした柱、もしくは補強用合板など、強度のある場所にしてください。

注意



取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げの金具に取り付けできるかを今一度確認してください。天井側の取付けを行った後に、テレビの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。



金具の種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。



次の場所には、設置をしないでください。

- 天井ボード（部屋から見える天井部）のみの場所、強度の弱い場所
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

取付けを始める前にもう一度チェック！

- ☒ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いか。
- ☒ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ☒ テレビの適合をもう一度確認してください。
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。
- ☒ 取付けを予定している天井の状態を確認してください。

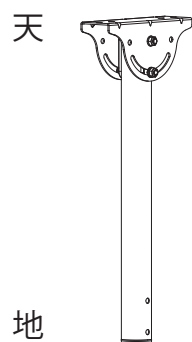
付属ネジに関して

- テレビ側のネジは、多くのテレビを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないテレビもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。
- 天井側のビスに関しても同梱されているネジは梁や補強用合板など強度のある天井に取付けを行う事を前提としています。

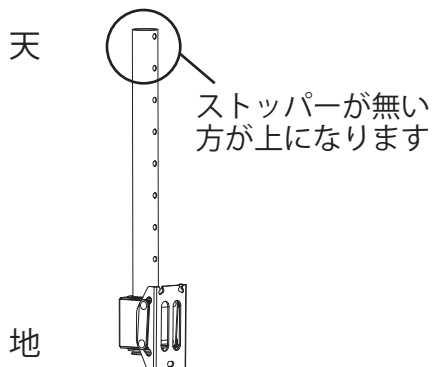
付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

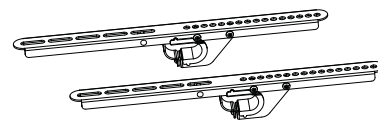
金具本体・組立部品・天井に取付ける部品



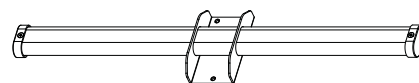
A. 天井側パイプ…1 個



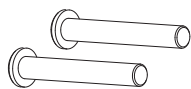
B. テレビ側パイプ…1 個



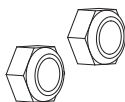
C. ブラケット…2 個



D. ブラケット
引掛けバー…1 個



E. パイプ用
ボルト…2 個



F. パイプ用
六角ナット…2 個



G. ブラケット用
六角ナット (小)…2 個



H. 型紙…1 個

テレビを取付ける際に使用する部品



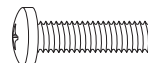
M-A. M5×14
ボルト…4 個



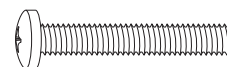
M-B. M6×14
ボルト…4 個



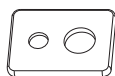
M-C. M6×30
ボルト…4 個



M-D. M8×30
ボルト…4 個



M-E. M8×50
ボルト…4 個



M-F. ワッシャー
…4 個



M-G. スペーサー小
…4 個

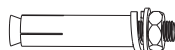


M-H. スペーサー大
…4 個

天井部取付けに使用する部品



W-A. ラグボルト
…4 個



W-B. コンクリート用
ボルト…4 個



W-C. ワッシャー
…4 個

その他



I. スパナ…1 個



J. 六角レンチ…1 個

※多くのテレビに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

Step 1. モニターブラケットを取付ける前に

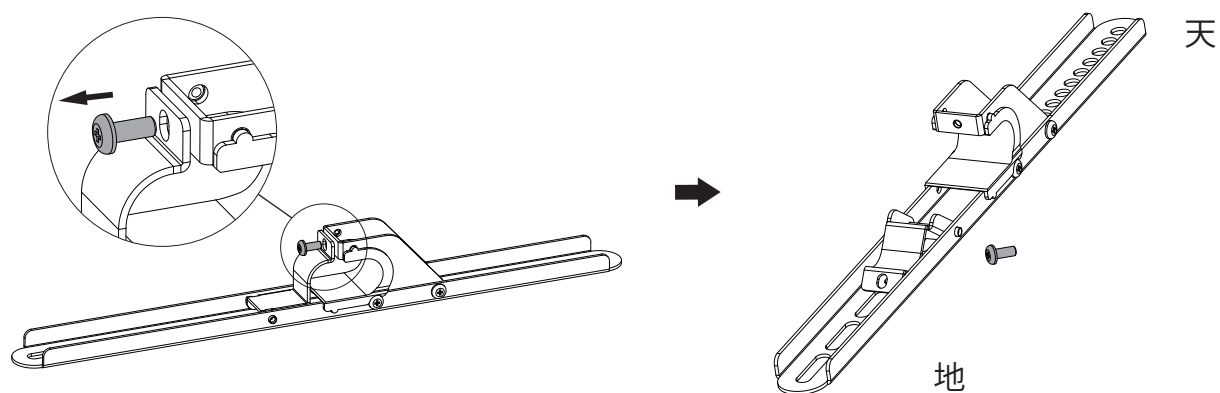
【1. テレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください】

【2. ブラケットのロックを外す】

下の図を参考にして、▼テレビ側ブラケット (C) のロックを外してください。

ポイント

- ・取り外したネジは後の工程で使用します。必ず保管してください。



Step 2. モニターブラケットの取付け

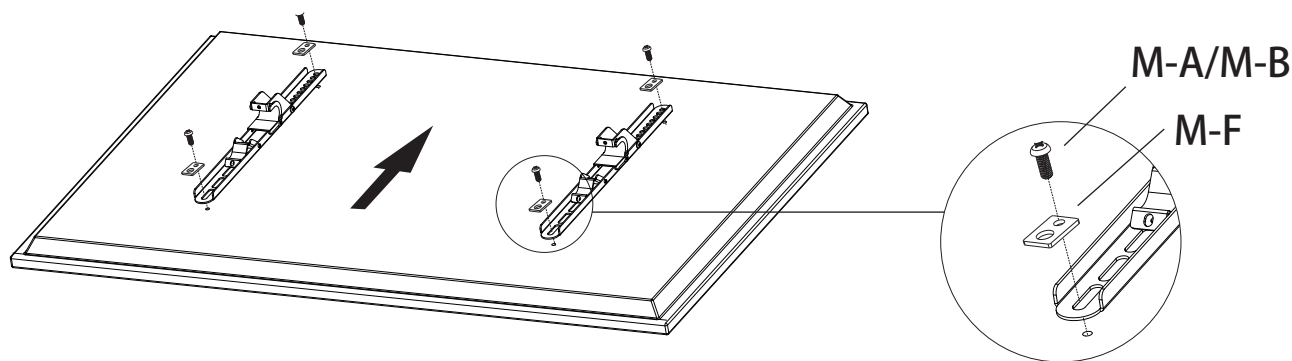
テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

【1. テレビ背面にブラケットを取付ける】

下の図を参考にして、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼テレビ側ブラケット (C) を▼ワッシャー (M-F)、▼ボルト (M-A/M-B) を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属ネジの全ては使用しません。**
- ワッシャーには2箇所穴があります。ネジの大きさに合った穴を使用してください。
- テレビ側ブラケットは Step1 でロックを外した側が下になるように設置します。また、2つのテレビ側ブラケットが平行になるように取付けてください。左右とも取付ける穴の位置は同じにしてください。

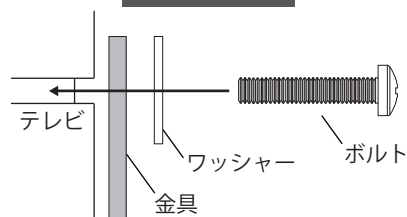


⚠ 注意

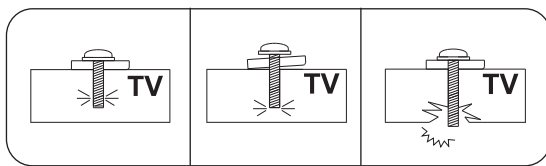


付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

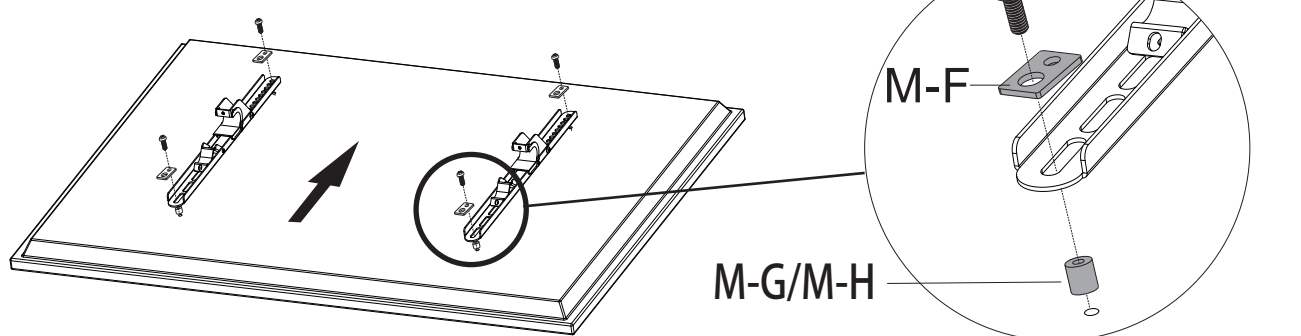
【1. テレビ背面にブラケットを取付ける】

テレビに段差がある場合やテレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、▼**スペーサー**を使用して取付けます。下の図を参考にして、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼**テレビ側ブラケット (C)**を▼**スペーサー (M-G/M-H)**、▼**ワッシャー (M-F)**、▼**ボルト (M-C/M-D/M-E)**を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属のネジ類の全ては使用しません。**
- ・スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。
- ・ワッシャーには2箇所穴があります。ネジの大きさに合った穴を使用してください。
- ・テレビ側ブラケットは Step1 で**ロックを外した側が下**になるように設置します。また、2つのテレビ側ブラケットが**平行になる**ように取付けてください。**左右とも取付ける穴の位置は同じ**にしてください。

段差の高さに合わせて▼**スペーサー (M-G/M-H)**を組合わせて使用してください。



注意



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。

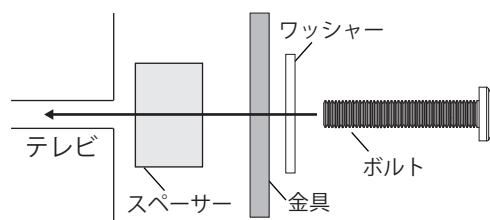


スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。

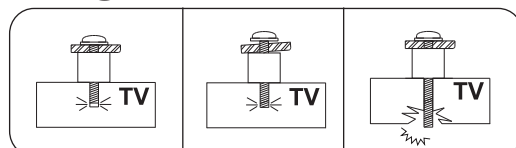


無理に取付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



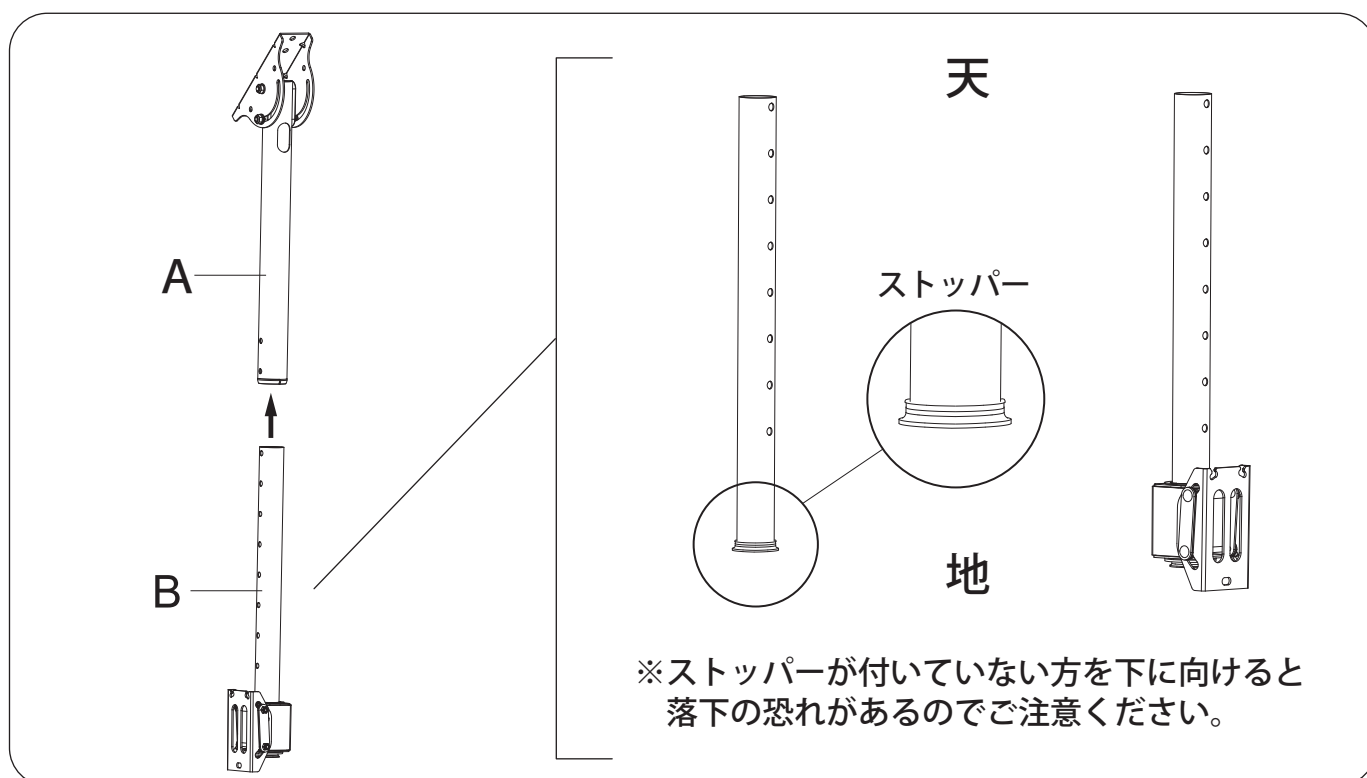
最適なサイズのボルトを使用



Step 3 - ①. 天井側金具の組み立て ～パイプの組み立て～

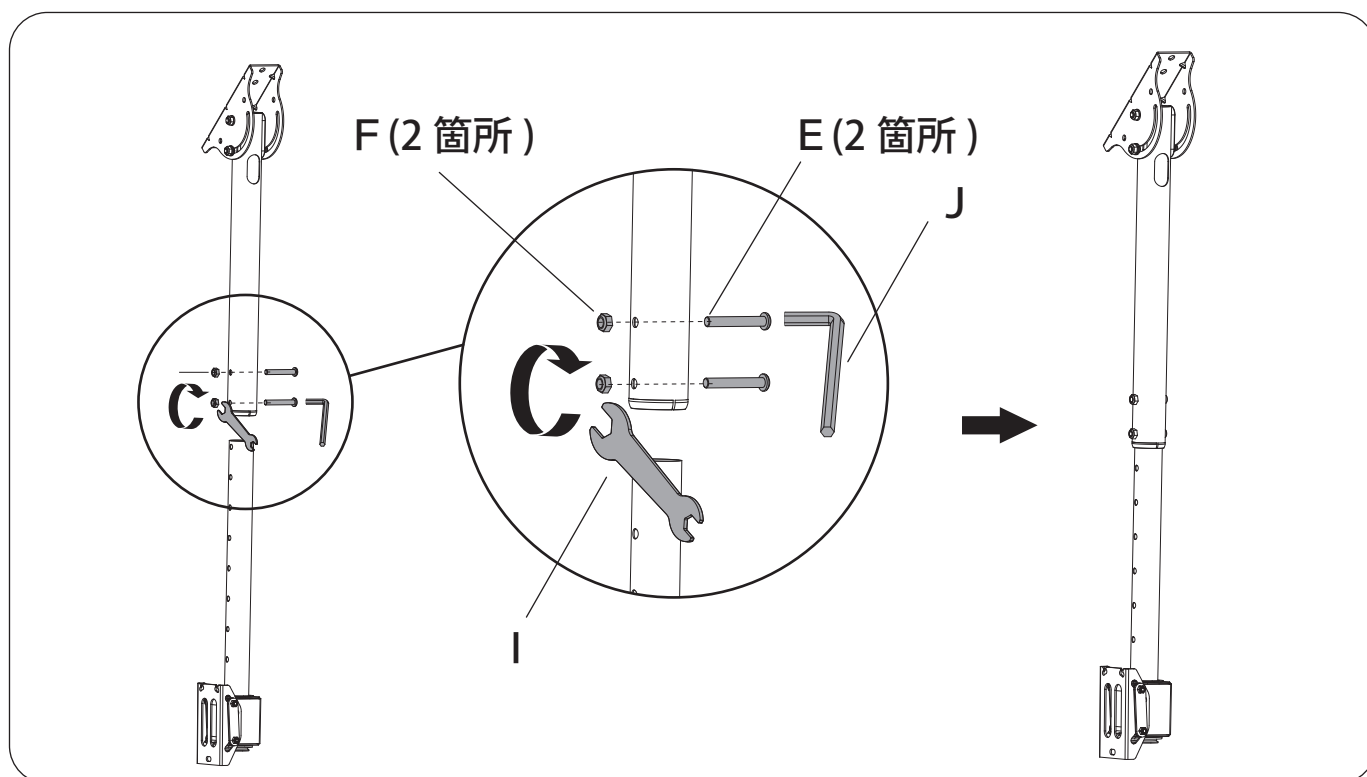
【1. パイプを組み合わせる】

- 図を参考に、▼テレビ側パイプ (B) を▼天井側パイプ (A) の中に入れます。
- ▼テレビ側パイプ (B) の片側にはストッパーがあります。ストッパーが地面側になるようにします。



【2. パイプをお好みの長さに合わせて固定する】

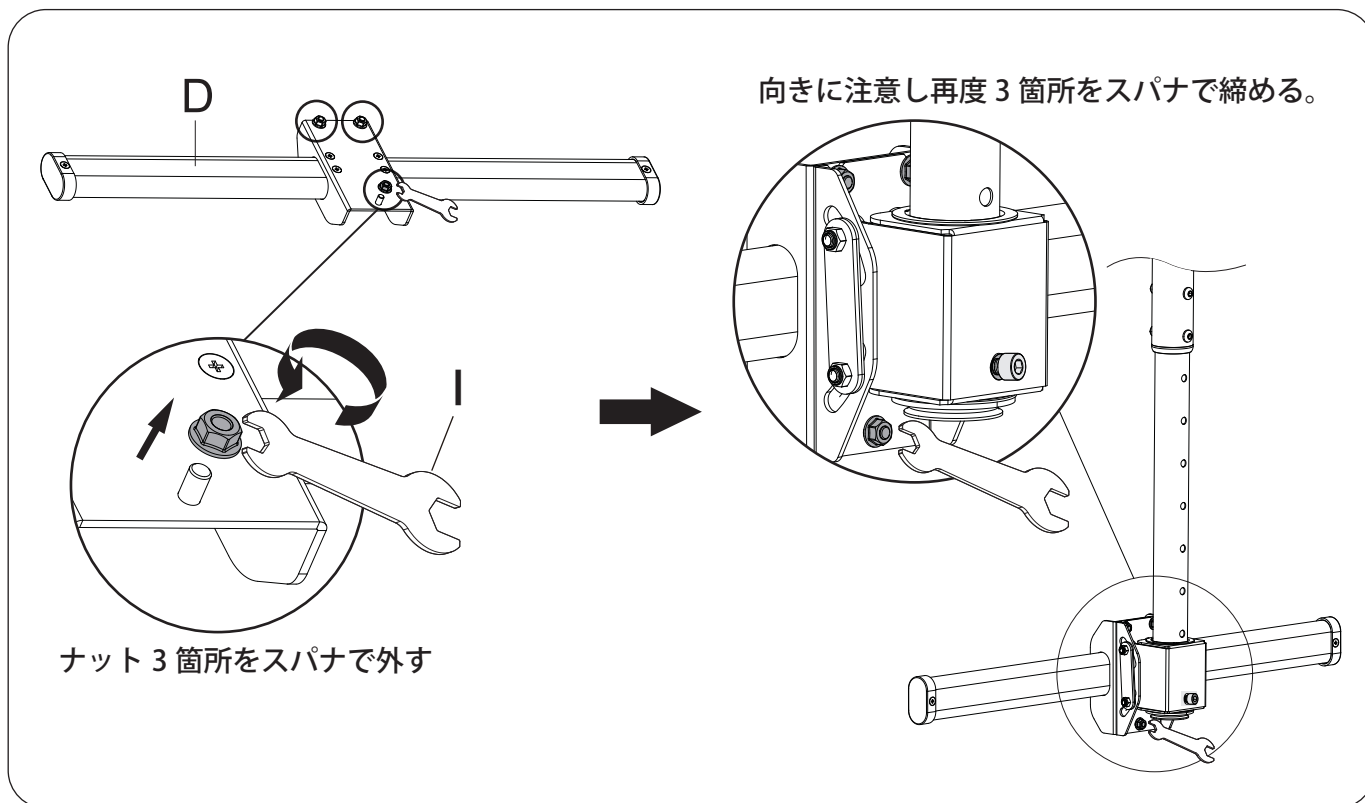
- ▼テレビ側パイプ (B) を▼天井側パイプ (A) の中に入れたら、図を参考に▼天井側パイプ (A) に開いている2点の穴に合うように▼テレビ側パイプ (B) の穴を合わせ、▼パイプ用ボルト (E)・▼パイプ用六角ナット (F) を使用して▼スパナ (I)・▼六角レンチ (J) でしっかりと固定します。



Step 3 - ②. 天井側金具の組み立て ～ブラケット引掛けバーの組み立て～

【1. ブラケット引掛けバーをパイプに組み立てる】

- 図を参考に、▼ブラケット引掛けバー (D) のナット3箇所を▼スパナ (I) で外し、Step 3-②で組み立てたパイプに固定して再度ナットをしっかりと締めて固定します。向きに注意してください。



Step 4 - ①. 天井側パイプの取付け ～柱・補強された天井へ取付ける場合～



注意



Step 2のテレビ側ブラケットの取付け作業を先に行ってください。万が一テレビ側ブラケットが取付けできなかった場合天井側の施工が無駄となってしまいます。(無駄に天井側を傷つける事になります。)



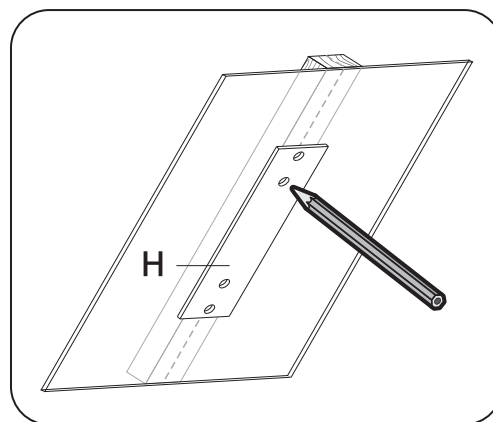
先に▼天井側パイプ(A)を取付けてしまったあとにテレビ側が合わなかったと発覚した場合でも一切の返品保証および天井側の工事保証等はお受けできません。



下穴を開ける際や▼天井側パイプ(A)を取付ける際に違和感を感じた場合は、ただちに取付け工事を中止し、専門業者にご相談ください。

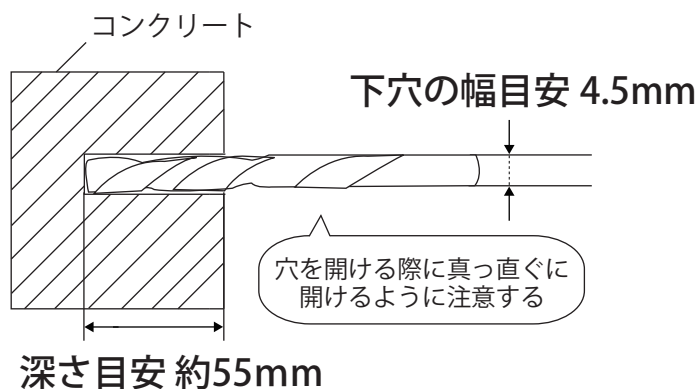
【1. 下穴を開ける位置を確認し、印をつける】

- ▼型紙(H)を天井に合わせてどこに取付けるかを決め、穴に合わせて天井に印を付けます。



【2. 印を付けた箇所に下穴を開ける】

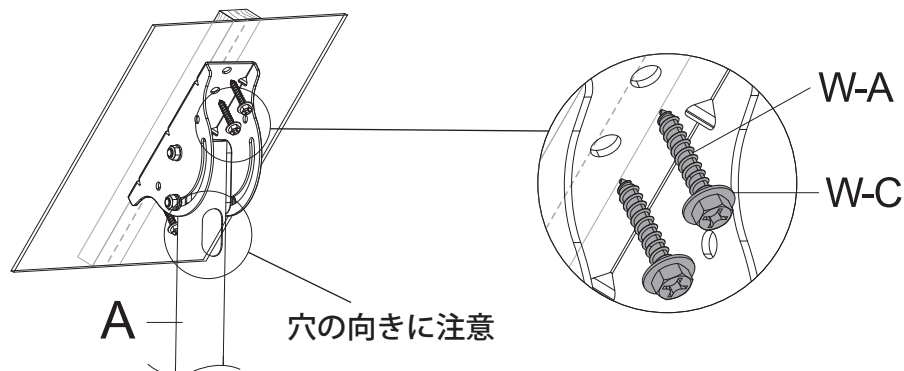
- 図を参考に、1. で付けた印にドリルを使用して下穴を開けます。ずれないように十分に気を付けて作業を行ってください。電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。



※下穴の幅及び深さの目安は付属のラグボルトを使用した場合の数値です。別途ボルト類をご用意された場合は、用意したボルト類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。

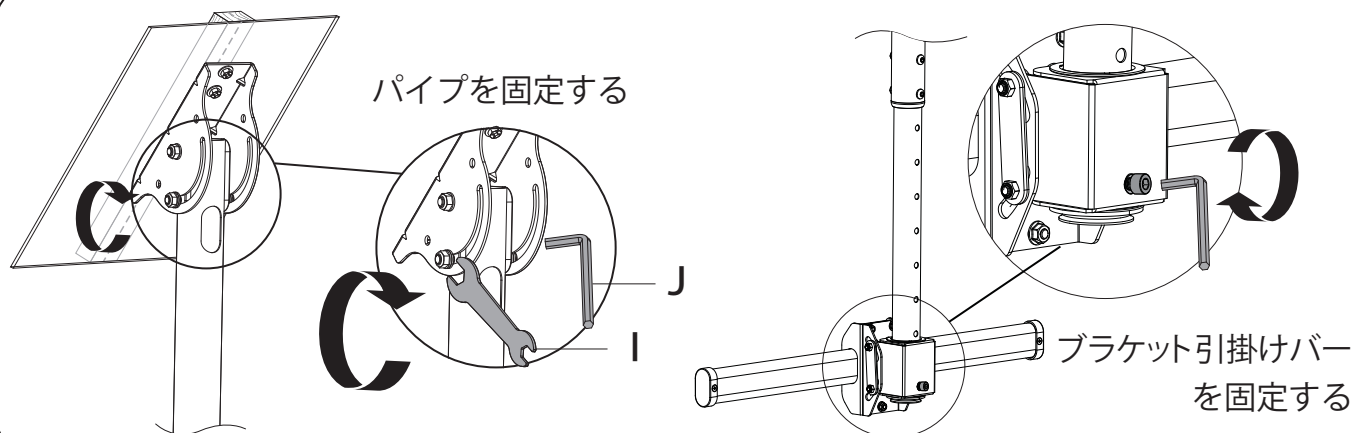
【3. ラグボルトを打ち込んでパイプを天井に取付ける】

- 図を参考に、2. で開けた下穴4箇所へ▼ラグボルト(W-A)を打ち込んでパイプを天井に取付けます。必ず▼ワッシャー(W-C)を使用してください。
- ▼天井側パイプ(A)の片側には、配線を通すための穴があります。実際にテレビを使用する際を考慮して、向きに気を付けて取付けてください。



【4. 各種角度を調節する】

- 図左側を参考に、天井の角度に合わせて、地面とパイプが垂直になる角度でパイプを固定します。付属の▼スパナ(I)と▼六角レンチ(J)を使用します。
- 図右側を参考に、実際にテレビを使用する際を考慮して、▼ブラケット引掛けバー(D)の向き回転させて調節します。調節が完了したら、▼六角レンチ(J)で固定ノブを締めて向きを固定してください。(基本的にはテレビの向きを固定して使用していただくことを推奨しております。設置後、固定せずにテレビを回転させると配線が絡んでしまったり切れてしまう可能性もございますのでご注意ください。) [→Step5へ進む]



注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付ける天井箇所の場所や状態によっては別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、落下の危険があるので絶対に行わないで下さい。

Step 4 - ②. 天井側パイプの取付け ～コンクリート天井へ取付ける場合～

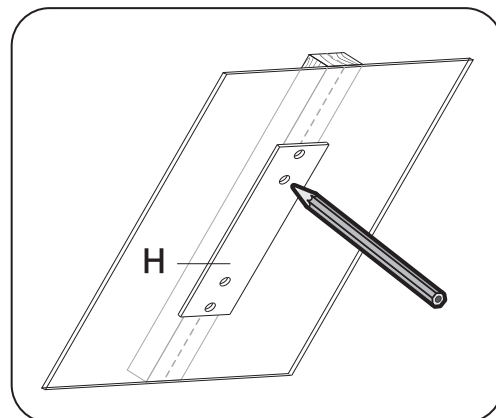


注意

- ❗ Step 2のテレビ側ブラケットの取付け作業を先に行ってください。万が一テレビ側ブラケットが取付けできなかった場合天井側の施工が無駄となってしまいます。(無駄に天井側を傷つける事になります。)
- ❗ 先に▼天井側パイプ (A) を取付けてしまったあとにテレビ側が合わなかったと発覚した場合でも一切の返品保証および天井側の工事保証等はお受けできません。
- ❗ 下穴を開ける際や▼天井側パイプ (A) を取付ける際に違和感を感じた場合は、ただちに取付け工事を中止し、専門業者にご相談ください。

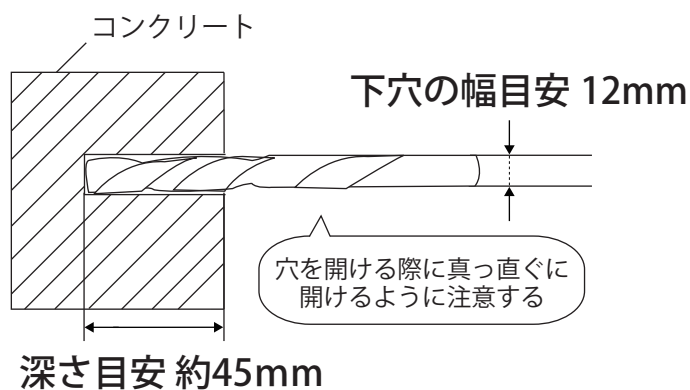
【1. 下穴を開ける位置を確認し、印をつける】

- ▼型紙 (H) を天井に合わせてどこに取付けるかを決め、穴に合わせて天井に印を付けます。



【2. 印を付けた箇所に下穴を開ける】

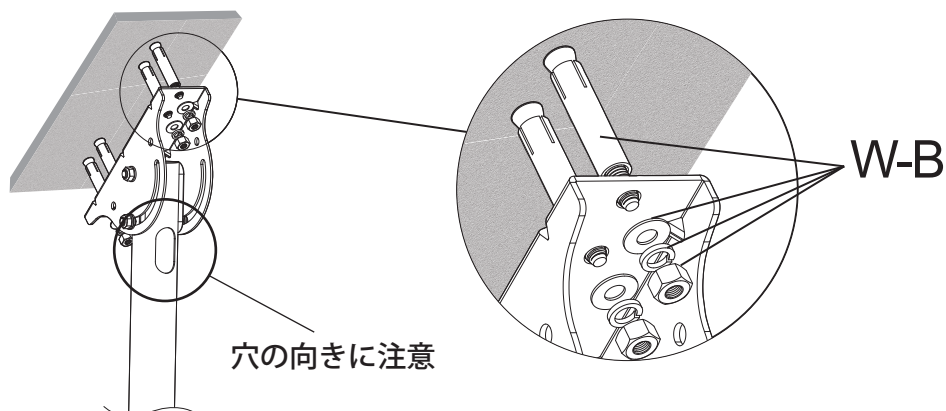
- 図を参考に、1. で付けた印にドリルを使用して下穴を開けます。ずれないように十分に気を付けて作業を行ってください。電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。



※下穴の幅及び深さの目安は付属のラグボルトを使用した場合の数値です。別途ボルト類をご用意された場合は、用意したボルト類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。

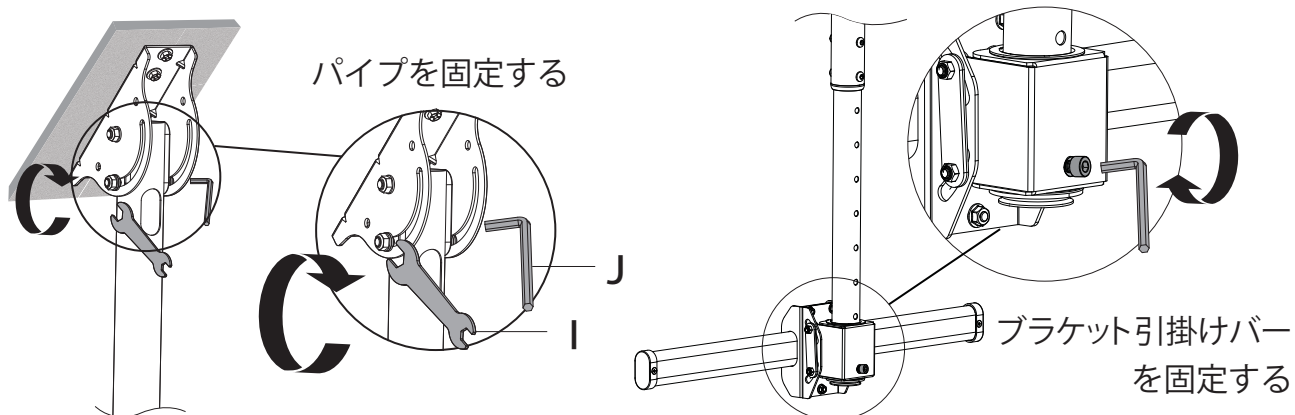
【3. 下穴にラグボルトを打ち込んでパイプを天井に取付ける】

- 図を参考に、2. で開けた下穴 4 箇所に▼コンクリート用ボルト(W-B)を打ち込んでパイプを天井に取付けます。
- ▼天井側パイプ（A）の片側には、配線を通すための穴があります。実際にテレビを使用する際を考慮して、向きに気を付けて取付けてください。



【4. 各種角度を調節する】

- 図左側を参考に、天井の角度に合わせて、地面とパイプが垂直になる角度でパイプを固定します。
付属の▼スパナ (I) と▼六角レンチ (J) を使用します。
- 図右側を参考に、実際にテレビを使用する際を考慮して、▼ブラケット引掛けバー (D) の向き回転させて調節します。
調節が完了したら、▼六角レンチ (J) で固定ノブを締めて向きを固定してください。(基本的にはテレビの向きを固定して使用していただくことを推奨しております。設置後、固定せずにテレビを回転させると配線が絡んでしまったり切れてしまう可能性もございますのでご注意ください。) →Step5 へ進む



ブラケット引掛けバー
を固定する



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付ける天井箇所の場所や状態によっては別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、落下の危険があるので絶対に行わないで下さい。

Step 5. ブラケット引掛けバーにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する



注意



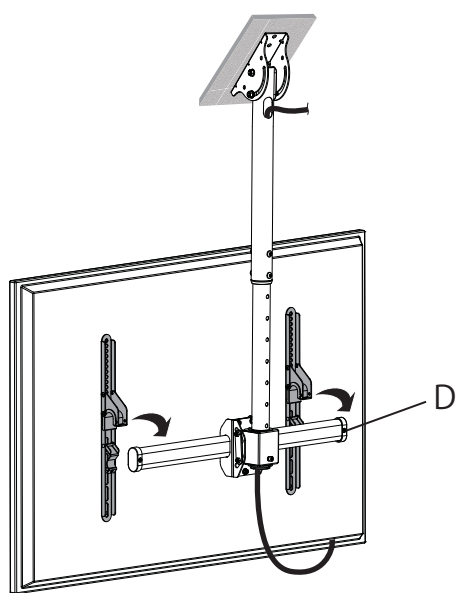
この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に 1 人で作業を行わずに 2 人以上での取付け作業を行ってください。



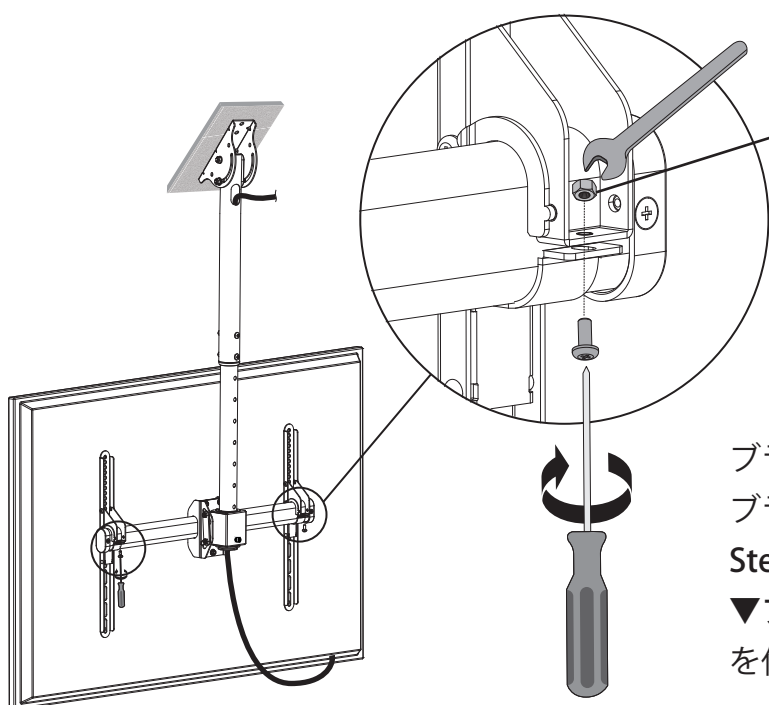
無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

【1. 壁掛け金具本体にテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する】

- 下図を参考に、ロックを外した状態のブラケットを▼ブラケット引掛けバー (D) に引っ掛ける。
- 引っ掛けたら壁掛け金具本体を噛ませる形でブラケットを再度ロックして固定する。Step1 で取り外したネジと、▼ブラケット用六角ナット(小)(G)を使用してください。
- 配線をパイプ内に通すことでスタイリッシュにご使用いただけます。



ロックを外した状態で
ブラケット引掛けバーに引っ掛ける



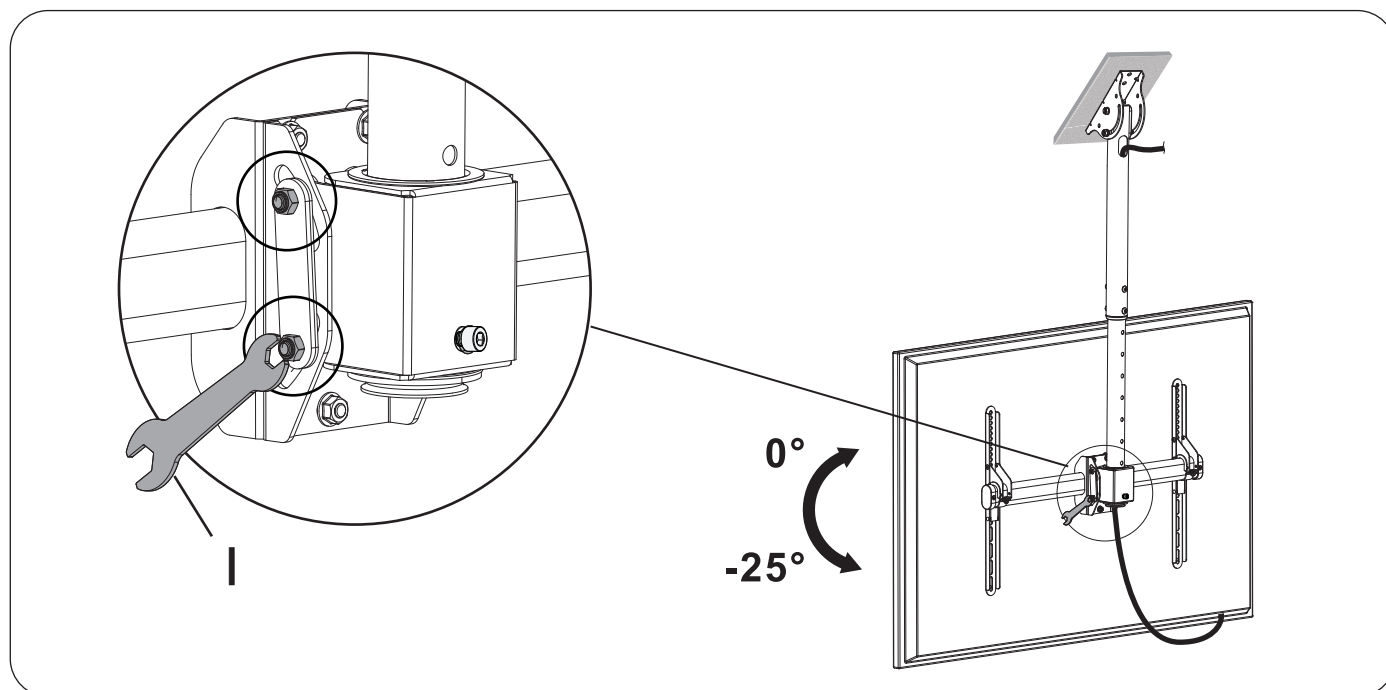
G (レンチ、スパナ等で抑えながら
ボルトを締める)

※付属のスパナは使用できません。
別途サイズの合うレンチ・スパナ等
をご用意ください。

ブラケット引掛けバーを噛ませる形で
ブラケットをロック、
Step1 で取り外したネジと
▼ブラケット用六角ナット(小)(G)
を使用して固定する。

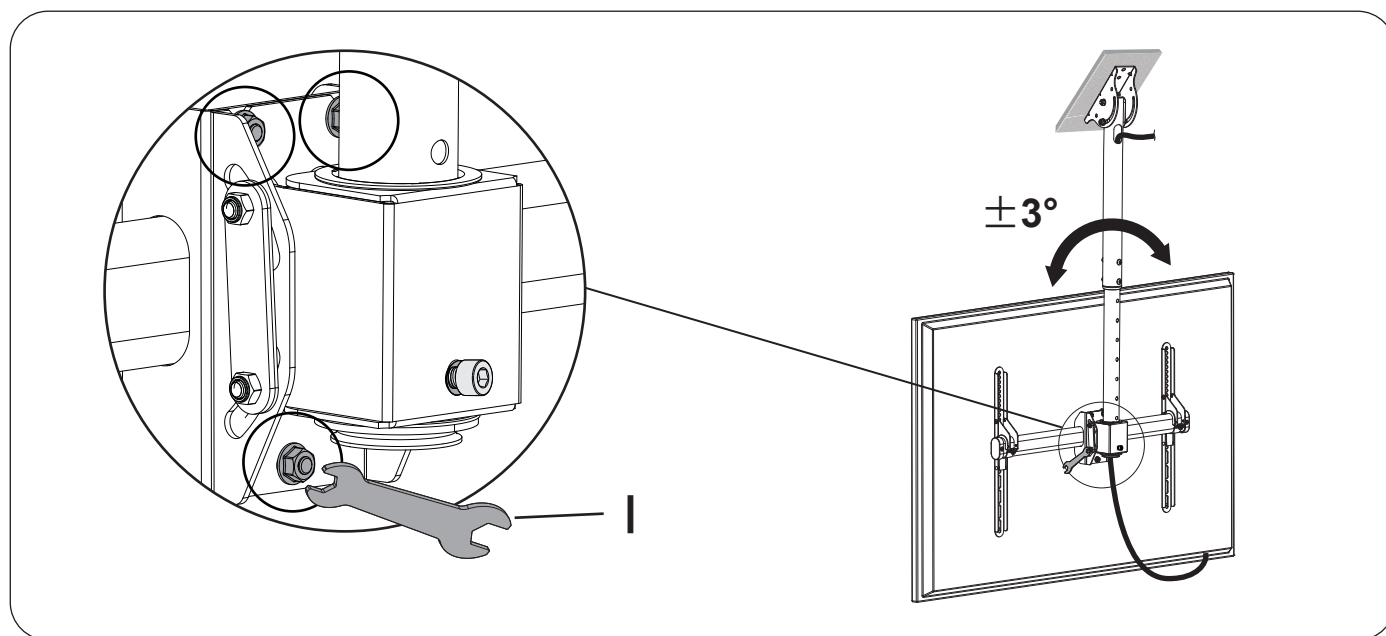
【2. テレビの上下傾き角度を調節する】

- 付属の▼スパナ (I) を使用して左右のネジを調節することでテレビの上下傾き角度調節が可能です。
- お好みの角度に設定した後は必ずしっかりとネジを締めてください。



【3. テレビの水平調節を行う】

- 付属の▼スパナ (I) を使用して3箇所のネジを調節することでテレビの水平調節が可能です。
- お好みの角度に設定した後は必ずしっかりとネジを締めてください。



Step 6. 最終確認

- ✓ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に (3 ヶ月～半年に 1 回程度) 実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ✓ 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

店舗名：エース・オブ・パーツ /KABEYA

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp